

## 令和6年度 第2回和歌山県社会福祉審議会地域福祉専門分科会 議事録

- 1 開催日時 令和6年12月16日(月) 14:00～15:00
- 2 開催場所 和歌山県民文化会館 6階 特別会議室B
- 3 出席者 大浦委員、小原委員、桑原委員、佐本委員、清水委員、竹内委員、玉置委員、辻岡委員、辻本委員、辻委員、西井委員、林委員、堀川委員、松本委員  
(委員名簿については別紙のとおり)
- 4 議 事 (1) 和歌山県地域福祉推進計画改定版(素案)について  
(2) 和歌山県地域福祉推進計画改定に関するスケジュール等について

### 5 議事概要

#### 事務局

本日の議事については分科会長の桑原委員に進行をお願いしたいと思います。

#### 会長

それでは早速議事を進めさせていただく。お手元の次第にあるとおり本日は和歌山県地域福祉推進計画素案についての審議が中心となるのでよろしく願います。議事の「(1) 県地域福祉推進計画改定版《素案》」について、事務局から説明をお願いします。

#### 事務局

(和歌山県地域福祉推進計画改定版素案について説明)

#### 会長

関係各課等からの意見をすりあわせた内容になっていたかと思う。ただ今の説明について何かご意見・ご質問等ありませんか。

#### 委員

資料3⑧地域福祉を担う多様な担い手づくりのところで、新規を含めて色々な取組をしていくということであるが、前回の審議会でも少し話をさせてもらったが、有田川町の清水では介護サービスのニーズは非常に多く、利用者はたくさん来てくれるが介護職員がほとんどいない状態である。吉備の街中から職員を派遣して対応している

ような状態。外国人介護人材の登用も希望しているが、ほとんどは近くの事業所へ行くので清水のような奥地へは来てくれない。介護ロボットの活用とか色々な取組はあるがなかなか難しいのではないかと思う。そのような中、現行計画では若い世代への福祉職場への関心を促すというような取組が書かれているが、次期計画ではそれが少し弱いのではないか。

## 事務局

ご指摘の箇所は全体的に記述内容を整理させていただいたところで、若い世代への取組については、地域福祉推進計画では全体的なことを中心に記載し、その他各分野における個別詳細な取組は「わかやま長寿プラン」において記載する整理とさせていただいた。

## 委員

資料3⑦で「男女共同参画の推進」を「ジェンダー平等の推進」に変えていただいているのは、性的少数者にも配慮した適切な文言で良いかと思う。

また「一方、県の審議会等における女性委員の登用率は35.2%（2024（令和6）年時点）となっており、ジェンダーギャップを解消するためにも、あらゆる分野における政策及び方針決定過程への女性の参画を促進していきます。」の記載は、ジェンダーギャップを解消するためだけにやっていると思われるかもしれないので、「ジェンダーギャップを解消し、多様な意見を取り入れるために」女性も参画した方が良いという表現にしてはどうか。

加えてその上の段落にある「地域における様々な活動を主体的に選択することができるよう」の箇所は、自分が選んでも参画できる環境がなければ活躍することができないことから「地域における様々な活動を主体的に選択し、積極的に参画することができるよう」とした方が良いのではないか。

## 事務局

いただいた意見を担当課と共有し、修正を検討する。

## 会長

少し気になったのが、県の審議会等における女性委員の登用率35.2%というのが、増えているのか減っているのか、多いのか少ないのか、どのような意味を持つのか分かりにくい表現かと思った。

## 事務局

現在、手元に数字等の資料を持ち合わせていないので、担当課に確認の上、分かりやすい表現に修正できないか検討させていただく。

## 会長

その他ありませんか。本日の審議の後はパブリックコメントに進んでいくことになるが、この審議会の後でも修正意見等を受けることはできるか。

## 事務局

スケジュールとしてはあまり余裕がないため、もしこの審議会の後での意見提出ということであれば12月20日（金）までをお願いしたい。

## 会長

それでは、もし本日以降で意見があれば12月20日（金）までに事務局まで連絡いただき、その後事務局で修正したものをパブリックコメントに出す前に分科会長の方で確認させていただくということでしたら承りいただけるか。

（特に異論なし）

それではそのような形でよろしく願います。その他ご意見はないでしょうか。

## 委員

資料3⑨の災害にも強い地域づくりの項目で「きめ細かな被災者支援の体制整備」とある。この項目の話に合うかどうか分からないが、今、被災した方への支援の問題というのは非常に注目されており、必要性が高い。その中で被災者の方の尊厳のある生活ということが国際的にもスフィアプロジェクトで言われている。私たち日本人はとても謙虚で、被災して体育館のようなところでベッドもなく、冷たいおにぎりしか提供されなくても、命が助かっただけ良かった、これくらいは我慢しないといけないというような考えの人が多いと思う。しかし、被災したときであっても人間は尊厳のある生活を送るべきであり、国際的にもそのような考え方がなされている。計画のどこに入れるのが良いか分からないが、反映ができればと思った。

## 事務局

今いただいたご意見は、災害ケースマネジメントの考え方に含まれるものである。災害ケースマネジメントは、被災後に避難し、そして日常生活に戻っていくまで関係

者が連携して素早く丁寧に行っていくというもの。避難所に避難している方だけではなく、在宅避難等の方も含めて継続的な支援をしていくという考え方である。今いただいたようなご意見はそのような取組の中に当然含まれてくるものなので、どのような表現で入れるのが良いか、検討させていただく。

## 委員

内容として含まれているということであれば、せっかく取り組んでいただいているのでやはり少し言葉として入れておいた方が良いのではないかと思うのでよろしく願います。

## 委員

今のご意見に関して、この計画の理念には大前提として人権の尊重ということが位置付けられているので、当然そこで包括的に表記されていると解釈することもできるかと思う。もちろん具体的な部分で尊厳というような言葉を使えば、読まれる方はより分かりやすいかと思うが、理念として人権の尊重があるので、今でもカバーはできているように思う。

## 会長

ありがとうございます。他にありませんか。

## 委員

前回意見として出した読み書きができない人についての部分で、反映はしてくれているのでありがたいが、当該項目が「地域力の強化」に入っており、あまりしっくりこないというか、もう少し文言を考えてもらえないか。記載内容も地域における識字学級の実践が必要であると、それはその通りであるが、この中で歴史的な経過を見てもやはり教育委員会を含めた行政の責任ということがあると思う。なのでこの地域力の強化という文言をもう少し考えてもらいたい。

## 会長

項目を変えるとすると、少し大変なのかなと思うがどうか。

## 事務局

「地域力の強化」の項目には他にもいくつか記載があり、地域力の強化のためには様々な住民に地域づくりに参加していただく必要があるという文脈から、識字学級や

日本語教室も含めてやっていくということを入れさせていただいた。ここの項目ではなく他でということでしょうか。

## 委員

全ての項目を確認してはないが、これだけだと地域で頑張れと言われているだけに見える。読み書きがなぜできなくなったのか等、それぞれ外国人も含めて事情はあると思うがやはり貧困というものが根底にあるわけなので、項目の文言だけでも変えるとか、少し考えていただきたい。

## 会長

素案では1番目の「包括的な支援体制の構築推進」の中に入っているが、もしかすると2番目の「互いに支え合う地域づくり」にある「人権を尊重した地域福祉の推進」に入れるのが良いのか。

## 委員

まだそちらの方が良いかもしれない。

## 会長

今の記載内容は社会参加の意味合いが強いと思うが、委員の考えは特に人権的な問題に焦点があるかと思うので、それをどのように反映させることができるかということかと思う。

## 委員

やはり人権の部分をもう少し入れてほしいと思う。

## 事務局

いったん持ち帰って検討し、どのようにさせていただくのが良いか考えさせていただきたい。

## 会長

その他ありませんか。

## 委員

これまで隣保館の活動として、人権を尊重した、まさしく地域福祉ということで、

地域の最先端で取組をしてきた。その中で本計画でも地域福祉を推進する関係機関の一つとして捉えていただいているかと思うが、隣保館で行っている活動を取組事例として入れていただきたいと思うがどうか。

## 事務局

事例を追加することは可能。スケジュールとしてあまり余裕はないが、どのような内容で入れるのが良いか、また個別にご相談させていただきたい。

## 会長

他にありませんか。無ければ先ほどお示しした12月20日（金）までに追加の意見があれば出していただき、事務局で修正したもの私の方で確認をさせていただき、パブリックコメントに進むという形でもよろしいでしょうか。その他なければ、素案の審議はこれで終わらせていただく。

それでは続いて「(2) 和歌山県地域福祉推進計画改定に関するスケジュール等について」事務局から説明をお願いします。

## 事務局

(和歌山県地域福祉推進計画改定に関するスケジュール等について説明)

## 会長

ただ今の説明について何かご質問等ありませんか。

(特になし)

なければこれで議事を終了し、事務局に進行をお返しする。

## 事務局

桑原会長ありがとうございました。委員の皆様には忌憚ないご意見を賜り、ありがとうございました。それでは、これをもちまして、令和6年度第2回和歌山県社会福祉審議会地域福祉専門分科会を終了いたします。本日は大変お忙しい中ありがとうございました。